

2019(令和元)年7月1日

多摩大学 経営情報学部
事業構想学科長・済州平和フォーラム諮問委員 趙佑鎮
学生課・国際交流センター事務課課長 黒瀬洋

多摩大学アジアダイナミズム 韓国 済州平和フォーラム研修 報告書

1. 研修の目的

現代の産業界が最高学府である大学に望むものは、時代の課題をビジネスの現場で解決できる問題解決力をもった人材の育成と、アジア・ユーラシアダイナミズムというパラダイム転換の時代を創造する志や、「地政学的知」を身に付けた人材の育成である。また、多摩大学の基本理念の一つに「国際性」がある。これら大学に課せられた使命から多摩大アジアダイナミズム韓国済州島研修として隣国である韓国において、世界の約78カ国7000人が集った「第14回済州平和フォーラム2019」(5月29日(水)～5月31日(金))に参加した。参加学生は、東アジアの平和と繁栄を促進するための各国トップによる基調講演、ディスカッションなど、多国間対話と世界のビジネス最前線を肌で感じ、国際関係とビジネスICTへの深い洞察を、アジアの協力と発展についての知見を深めることができる。参加7年目の今年も、済州平和研究院訪問視察、済州漢拏大学との学生交流会を開催した。また、高大連携の一環として多摩大学目黒高等学校及び聖ヶ丘高校の生徒と、多摩地域のアクティブシニアを支援するジェロントロジー企画の一環として社会人が参加した。本研修は参加および課題を提出することによりアクティブラーニング実践として単位認定される。

- ① 済州平和フォーラム2019(5月28日(火)～5月31日(木))への参加
- ② 済州平和研究院訪問
- ③ 済州漢拏(ハンラ)大学国際交流セレモニー、学生交流会
- ④ 韓国 ソウル・済州島において各種施設の視察

2. 研修全期間

2019年5月29日(火)～6月1日(土)

3. 研修先

- ① 済州国際会議場 International Convention Center Jeju (ICC JEJU)
<http://www.iccjeju.co.kr/>

4. 宿泊先

- ① ベストウェスタンプレミアホテル国都(全員:1日目)
<http://www.hotelkukdo.com/>
- ② ブヨンホテルアンドリゾート済州 (Jeju Booyoung Hotel & Resort)(一部教員2・3日目)
<http://www.booyoungjejuhotel.com/>
- ③ ホテル ザ ボーン (Hotel The Born) (学生:2・3日目)
<http://www.mstayjeju.co.kr/>
- ④ 済州漢拏(ハンラ)大学ホテル(全員:4日目)

5. 参加者 0内は女子

経営情報学部学生 41名 1年次 36(12)名・2年次生 3(0)名・3年次生 2(0)名

多摩大学附属聖ヶ丘中学・高等学校生徒 6名 (高校2年6名(2))

多摩大学目黒中学・高等学校生徒 3名 (高校1年3名(1))

※日本経営者訪問団 60名 ※多摩大学シルバーデモクラシー企画参加5名

6. 研修引率者

趙佑鎮 教授(経営情報学部 事業構想学科長)
久保田貴文 准教授(経営情報学部 教務委員会副委員長、アクティブ・ラーニング委員会委員)
水盛涼一 准教授(経営情報学部 入試委員会委員・国際交流委員会副委員長)
野坂美穂 専任講師(経営情報学部 入試委員会委員、産官学民連携委員会委員)
黒瀬洋 多摩キャンパス学生課長・国際交流センター事務課長
小林英夫 教授(経営情報学部 経営情報学科長・学長室長) ※ジェロントロジー企画引率
小西英行 教授(経営情報学部 教務委員会副委員長) ※自主参加
出岡 由宇 教諭(多摩大学附属聖ヶ丘中学・高等学校)
谷川 貴信 教諭(多摩大学目黒中学・高等学校)

7. 研修詳細日程

<経営情報学部オリエンテーション① 4月24日(水)12:20~12:55>
プログラム概要説明

<経営情報学部オリエンテーション② 5月8日(水)12:20~12:55>
韓国近現代史、済州4.3事件 事前学習(趙教授)、倫理経営(趙教授)
事前・事後課題について(趙教授)

<経営情報学部オリエンテーション③ 5月14日(火)12:20~12:55>
長寿企業の哲学精神と経営など(趙教授)、海外旅行保険について説明

<経営情報学部オリエンテーション④ 5月23日(木)12:30~12:55>
済州漢拏(ハンラ)大学学生交流会について(趙教授)
オリエンテーション欠席者課題について(趙教授)
集合場所など最終スケジュール・注意事項確認

<第1日目 5月28日(火)>

07:10 羽田空港国際便ターミナルに集合(大韓航空 JTB カウンター前)・搭乗手続き
09:15~11:40 参加者と教職員が KE712 便にてソウル金浦空港へ
12:30 多摩大学研修団JTB手配専用バス2台・ソウル市内視察(国立中央博物館・ロッテ免税店)
16:30 ベストウエスタンプレミアホテル国都(クットー)チェックイン
17:00~18:30 ホテル会議場 講演『アジア時代における日韓関係』朴領植博士
19:30~ ホテル・レストラン 夕食会

<第2日目 5月29日(水)>

08:00 ホテルチェックアウト後、専用バス2台搭乗出発、バス内軽食
09:00 専用バス金浦空港着、搭乗手続き
10:05~11:15 KE1213 便にて済州空港へ
12:00~ 多摩大専用バス2台で出発(人間開発研究院スタッフ同乗)
中文観光団地 多摩大生宿舎 THE BORN HOTEL 荷物預け入れ
済州国際会議場へバス移動

- 12:50 済州国際会議場(ICC)レストラン昼食(ID・資料受取)
- 13:30～15:00 『東北アジア地域の平和と繁栄のための韓国と日本の役割』 国立外交院主管
- 15:20～16:50 ※以下のいずれかのセッションに参加
『平和都市連帯:都市間平和ランドマークネットワーク構築』 済州特別自治道・済州平和研究院主管
『地域住民と観光客全てのための地域観光活性化1』 済州特別自治道・済州観光公社主管
『ヒーリング(癒し)、済州観光の未来をみる』 済州国際自由都市開発センター主管
『3. 1独立運動の現代的継承と国際秩序』 東北亜歴史財団主管
『東アジア地域平和のための日中韓の架橋役割-日中韓 3 国協力 20 周年記念』
日中韓 3 国協力事務局主管(英語同時通訳のみ)
- 17:10～18:40 ※以下のいずれかのセッションに参加するか、済州平和国際センター視察
『環太平洋平和公園都市協議体コンファレンス』 済州特別自治道主管
『地域住民と観光客全てのための地域観光活性化2』 済州特別自治道・済州観光公社主管
『済州国際平和センター視察』
- 19:00～20:10 夕食(近郊レストラン)
- 20:30～21:30 鳩山由紀夫元総理挨拶、記念写真、日本訪問団懇親会
- 21:40 中文観光団地 多摩大生宿舎 THE BORN HOTEL チェックイン・解散

<第3日目 5月30日(木)>

- 07:00 朝食buffet(ホテル B1 階レストランにて)
- 08:20 集合・バス移動
- 08:40～09:00 済州国際会議場にて全体ミーティング
- 09:00～10:00 [全体セッション I] 『米中関係の未来を問う:トウキディデスの罫とアジアの運命』
ムン・ジョンイン 韓国大統領府外交特別顧問、グレイアム・アリソン 米国元国防省次官補・ハーバード大学教授、リ・ジャオシン 元中国外交部長(外務大臣)、ジャック・マーチン 英国ケンブリッジ大学専任研究員
- 10:20～11:00 [開会式]
- 11:00～12:30 [世界リーダーセッション] “アジアの回復弾力的平和に向けて:協力と統合”(90')
パン・キム 前国連事務総長、鳩山由紀夫 元日本国総理、ブライアン・マルルーニー 元カナダ総理、ハインツ・フィッシャー 元オーストリア大統領、マルコム・ターンブル 元オーストラリア総理、ホン・ソックヒョン 前中央日報会長・中央ホールディングス会長
- 12:30 昼食(buffet)
- 13:30～15:00 ※以下のいずれかのセッションに参加
『北朝鮮政権力学の理解』 東アジア財団主管
『民族主義と回復弾力的な日本・中国・韓国関係』 国立外交院主管
- 15:20～16:50 [日本セッション I]
『企業の社会的価値と経済的価値追求の両立の知恵』 人間開発研究院・東京都倫理法人会主管
藤岡俊雄 経営実践研究会理事長
イ・スニョル 東北亜共同体研究財団理事長・韓国キリスト教実業人会長、
司会:ムン・ヨンリン 人間開発研究院名誉会長・元韓国文部大臣
- 17:05～18:40 [日本セッション II・日韓交流記念公演]
『持続可能経営のための企業ガバナンスとイノベーション ～キッコーマン社の事例を中心に』
100 年経営研究機構・多摩大学主管
高梨一郎 100 年経営研究機構理事、チョウ・テクホン KwangjuYo 会長
司会: 趙佑鎮 多摩大学教授
- 19:00～20:00 夕食(近郊レストラン)
- 20:10～21:20 日本訪問団親睦交流会(行徳哲男団員挨拶・団長及び学生挨拶・名刺交換・懇親談話)

21:40 ホテル到着・解散

<第4日目 5月31日(金)>

07:00 朝食ブュッフェ(ホテル B1 階レストランにて)・チェックアウト
08:50 集合・バス移動
09:00～09:20 済州漢拏大学生と済州国際会議場で合流(ロビー)・写真撮影
09:30～11:00 『国際金融機構と北朝鮮経済:対北民間資本誘致』世界経済フォーラム(ダボス会議) 主管
11:10～12:10 [全体セッションⅢ] 『回復弾力的都市作り:協力とリーダーシップの役割』
ヘレン・クラーク元ニュージーランド総理
12:20～13:10 [日韓大学生国際平和交流セッション] 『幸福の意味と力量』
ムン・ヨンリン人間開発研究院名誉会長・元韓国文部大臣講演
13:10～ 写真撮影・バス移動(昼食)
15:00 済州漢拏大学到着、済州漢拏大学ホテルチェックイン
16:00～18:30 日韓大学生交流会 別紙参照
1部 公式行事(関係者挨拶、学生発表)(45分～1時間)、2部 学生親睦交流(1時間半程度)
18:30 ホテル・レストラン 夕食 解散

<第5日目 6月1日(土)>

07:30 朝食ブュッフェ(ホテルレストランにて)
09:00 集合・チェックアウト・バス移動
09:00～13:30 専用バス2台搭乗出発、視察観光、ショッピング
13:30～14:30 昼食・レストラン(サムギョプサル)
15:00 済州空港着、搭乗手続き開始
16:10～17:20 済州空港 KE1236 便発 金浦空港着(ソウル金浦経由便)
18:40 金浦空港 KE2711 便発
21:00 羽田空港着、解散

8. 今回の済州フォーラムと研修の特徴

多摩大生の毎年度参加として7回目である今回の済州フォーラムと研修の特徴は下記の通りである。

- ・フォーラム貴賓として招かれた鳩山由紀夫元首相は、日本訪問団懇親会に参加し、多摩大生のための挨拶を行い、日本の歴史認識とアジア平和の重要性を強調し、多摩大の時代認識であるアジアダイナミズムについて共感を示し、学生を激励した。
- ・教職員の相互協力とこれまでの経験値によって、学生の事前学習及びセッション学習の誘導や引率、トラブル処理において円滑に行われた。また、7回目の多摩大企画の日本セッションも参加人員の量と議論内容の質において、去年同様に済州フォーラムに経済経営セッションで十分な貢献をしたと評価された。
- ・学生のフォーラムに臨む姿勢態度も毎年確実に向上している。学生参加者40人のうち、1年生が35人を占め、グローバル化に対する新入生の関心と意欲の高さが示されたものであり、今後もこの傾向が続くものと期待する。
- ・済州フォーラム初日に済州島知事から、毎年参加している多摩大生への敬意を示す激励のコメントがあった。今年度は米中問題を扱うセッションが注目された。
- ・高大連携の一環として多摩大学目黒高校生徒3人と聖ヶ丘高校生徒5人は、多摩大教員の事前学習も受け、研修期間中に大学生と交わりながら、セッション参観も集中力を持ちながら十分にこなした。日本訪問団懇親会でも多くの経営者を前にして堂々と意見を述べていた。
- ・ジェロントロジー企画として学長室長引率の元、フォーラム参加した地域のシルバー5人も無事日程を終え、内容の充実さを満足していただいた。

- ・多摩大生のための、ソウルでの朴領植博士の日韓関係をテーマとした講義においては、学生からの反応は大変高く、食事会の際にも朴博士に対して多くの質問が学生から活発に行われた。
- ・済州漢拏大学の交流会は、盛大な歓迎ぶりで、済州漢拏大学学生もフレンドリーに多摩大生に接してもらい、そのため、韓国人と国際交流へのイメージと抵抗感も変化したという感想が去年同様多く聞かれた。交流会では、本学派遣の済州漢拏大学への長期交換留学生在が韓国語で発表を行い、短い期間での語学の上達ぶりと適応力の高さに周囲が驚き、参加学生の数名が今後の長期留学を真剣に検討するきっかけになったということで、強い関心を示していた。

9. 単位取得のための学生への課題

<事前課題>

以下のキーワード・概念・出来事を、インターネット等で調べ、A4 4枚以上に自分なりにまとめて読み返し、第4回オリエンテーションにて提出。

- ① 歴史和解は可能か ② 鳩山由紀夫(友紀夫) 元総理
- ③ パン・キムン 前国連事務総長 ④ 日韓関係(例えば現在の問題等)
- ⑤ 韓流 ⑥ 平和博物館 ⑦ トウキディデスの罫 ⑧ 米中問題(対立)
- ⑨ 幸福論 ⑩ 北朝鮮の核問題 ⑪ 民族主義(の問題) ⑫ 長寿企業

<セッション時間中のペーパー提出: 引率担当教授の指示に従ってメモ作成>

<事後課題> 締切: 6月14日(金)17:00 寺山 terayama@tama.ac.jp まで

内容: ① 今回の研修で得たこと

② 研修で得たことを今後どのように生かすか。

③ 韓国のイメージが研修参加前と参加後ではどのように変わったか。

の3点を含む感想文(ワードで1200字程度、A4一枚にまとめてください)

10. オリエンテーション欠席者の課題

来年、済州島研修を宣伝するためのポスター(サイズ自由)を作ってください。

- ① ワードまたはパワーポイントで情報は今年のもので良いです。
- ② 必ず3枚以上の写真、キャッチコピーを入れてください。
- ③ 文字量などの制限はありません。
- ④ オリエンテーションで配布した資料やウェブから引用しても構いません。

ターゲットは、以下のうち、1つを選んでください。(2回欠席の場合は2種類)

- ① 来年の1年生向け(入学後すぐに参加する1年生にとってメリットは?)
- ② 多摩大生の保護者向け(保護者の人に研修費用を出しても良いと思わせるとしたら?)
- ③ 高校生向け(多摩大学を受験しようと思っている高校生に向けて配るとしたら?)
- ④ 一般向け(もし済州島研修を旅行代理店として販売するとしたら?)

★ 提出期限・方法 6月14日(金) 17:00 寺山 terayama@tama.ac.jp までメール添付にて提出

以上



ソウル視察の様子



免税店視察



講演『アジア時代における日韓関係』



講演する朴領植博士



済州国際会議場(ICC)



セッションの様子



セッションの様子



ウォン・ヒョン 済州道知事



済州平和国際センター視察



済州平和国際センター視察



日本訪問団懇親会・鳩山由紀夫元総理挨拶



鳩山由紀夫元総理と多摩大生の集合写真



世界リーダーセッションの様子



鳩山由紀夫元日本国総理講演



日本セッションの様子



高梨一郎 100年経営研究機構理事



日本訪問団親睦交流会



多摩大学学部生代表挨拶



多摩大学附属聖ヶ丘高校代表挨拶



多摩大学目黒高校代表挨拶



全体セッションの様子



全体セッションの様子



日韓大学生国際平和交流セッション



ムン・ヨンリン人間開発研究院名誉会長・元韓国文部大臣



濟州漢拏大學



日韓大學生交流會會場



本學派遣の長期交換留學生發表的樣子



本學研修參加學生的發表的樣子



本學研修參加學生的發表的樣子



趙教授(左)・八東(中央)・鄭學科長(右)



学生交流会の様子



学生交流会の様子



e mart ショッピング



Nexon Computer Museum



昼食レストラン



昼食の様子(サムギョブサル)

多摩大学・済州漢拏大 国際交流プログラム・学生交流会

日時：2019年5月31日（金）

時間：16時開始

場所：済州漢拏大学 本館（大会議室）

進行：鄭礼実（観光日本語科学科長）

内容

16:00～

↑ (1) 開会の言葉

17:00

(2) 両大学出席者紹介

(3) 済州漢拏大学・歌披露

『雪の華』（発表者：1年生/コ・スンウォン、2年生/キム・ドンファン）

(4) 多摩大学交換留学生

『済州漢拏大学 体験記』（発表者：八束あき）（15分程度）

1部

(5) 歓迎の舞（韓国伝統舞踊）（発表者：4年生/ジョン・テシム）

(6) 多摩大学

『多摩大学・寺島実郎学長の世界とインターゼミ』（8分程度）

（発表者：2年生/久保玲二、1年生/キム・ドンミン）

(7) 多摩大学

『2018年・日本最大ヒットソングUSAのダンス』

（発表者：2年生/ 庄司剛）

(8) 済州漢拏大学

K-POP ダンスグループ発表（2組）

↓ (9) 両大学・代表者挨拶

(10) 記念撮影（本館前）

17:00～

18:20

↑ ↓ 【学生親睦会】

2部

（済州漢拏大学構内）

日本・多

*多摩大学生と済州漢拏大学生は各グループに分かれて構内見学、交流会

(観光日本語科の教室に飲み物、お菓子等を準備)

※ 18:30 ~ (予定) 多摩大学側はコンベンションホールのレストランにて夕食・

済州漢拏大学の学生は解散

[研修終了後提出の学生感想文からの一部抜粋]

3年生

解決するには自分の国の歴史だけを見て自国が正しいと思うのではなく、相手国の歴史も確認し、お互いの国の歴史を尊重していかなければならない。これは文化に対しても言えることで、自国以外の文化を認めないという意図があると新たな争いが起きてしまう可能性があるということをフォーラムで学びとても強く印象に残った。

参加前は韓国に対して反日国などの悪いイメージしかなく、一度も行ったことのない国に勝手なイメージをつけるのはおかしいと思い今回参加した。結果として韓国は楽しく、韓国の方も親切な人ばかりで反日国という悪いイメージから誰もが親切で活気あふれる隣国という良いイメージに変わった。早く日韓関係が修繕することを願う。

2年生

国際平和の為に鳩山由紀夫元総理や、いろんな総理や大統領などが集まっていて、全員が国際平和を心から望んでいる事を凄く感じました。済州フォーラムに参加していて私自身話の内容がとても難しくまだ自分には早いなどは思いましたが、こういう雰囲気を味わえただけでもとても感じました。この価値と海外に行く事の重要性をもっと多くの多摩大生に気づいて欲しいと思いました。来年の済州フォーラムではあの空間をもっと充実させたいと思いました。

2年生

この済州島研修に参加したのは2回目である。済州ハンラ大学の学生交流会で今回は私だけで2018年のヒット曲【USA】を披露した。あまり練習出来なかったせいか思うように踊れなかったが、韓国人学生のテンションの上がり方が半端なくて、周りを盛り上げてくれたからとても良かった。

1年生

初めての海外であったこともあり、とても楽しみであり同時に不安もありました。しかし、不安は現地につくと同時に消えており研修期間は気持ち的にも「楽しみたい」という気持ちが勝り、その気持ちにこたえられるよう全力で楽しみ、学ぼうと行動できました。

1年生

私は済州フォーラムで様々なセッションを聞く前では全くと言っても過言ではないほど政治に関する興味を持っていなかった。今回の研修を通して協力しあうことの大切さを学んだ。今もなお日韓関係のことが問題視されている中で私たち国民一人一人が政治的に関心を持ち、理解しあうことが改善への大きな一歩となり、そして日韓関係の改善が実現すれば世界の平和にもつながることが分かった。今後はニュースをしっかりと見る習慣をつけ、世の中の情勢に常に注目したい。

1年生

印象に残ったセッションがいくつかあり、一つ目は、企業は何のためにあるのか？という内容でそのセッションの講師は社会問題を解決するためにあると主張していました。さらに成長とは？幸福とは？という誰もが持つ疑問の答えを企業が出すと主張していました。

1年生

私が今回の濟州島研修で得たことは、どんなことでも多くの知識を手に入れる事の大切さです。どんな分野でもどんな話題でも、一方に偏った知識や偏見を持ったままでは、有意義な会話や話し合いはできないということです。

今回のフォーラムでは韓国の方はもちろんのこと、世界から著名な方々が来られていました。その中で、その方々の意見や見解を聞くと、日本のニュースではなかなか耳にしないような話が出ていました。あ、なるほど、今までこうやって考えていたけど、このようにも考えられるのか、新しい考えだ、と気が付かされるものがとても多かったです。そうすると、今までとはその事柄に対するイメージが変わってきました。やはり、日本優位の意見が流れることが多いものと思いました。また、米中関係などあまり知らなかった話も聞くことができ、これからは積極的にニュースや報道番組などを見ていこうと思いました。

1年生

“無知であることを恥じず、無知に甘えることを恥じる。”という言葉聞いて、この研修に参加することを決めました。実際、フォーラムで日韓関係のことが議題にあがった時、一方的に日本側を責めるわけではなく、解決にはどのようにしていく必要があるかをしっかりと話し合っているのが、とても印象に残りました。私は、この研修で何にも代えることのできない経験を得ました。特に、パク・ヨンシク博士がおっしゃっていた「北朝鮮の核問題と日本の拉致問題はツートラックで考えなければならない。唯一核で攻撃された日本だからこそ伝えられることがあり、それはどの国よりも説得力がある。」という言葉には、とても感銘を受けました。私は、今回で得た経験を活かして、世界情勢を積極的に学び、グローバルに活躍できるような人物になりたいと思いました。

1年生

韓国は今までは日本との国交も悪く、あまり良いイメージを抱けなかったが、今回の研修、および事前学習によってそのイメージは払しょくされた。日本でのK-POPの流行や韓国人の日本に対するイメージなど、良好な状態にある方が多くあり、実際に韓国で現地の方々とは話をすると、驚くほど親切に接してくれた。事前に調べてはいたが、韓国の『情の文化』がここまで当たり前存在するものだとは思っていなかった。

1年生

最終日の濟州漢拏大学では現地の韓国学生と交流して、大学周辺のカフェに学生のみで行き、皆で写真をとってラインやインスタなどを交換して、仲良くなれて自分で先生や相手方の先生にお願いしてイベントをできてよかったと思います。

1年生

今回の研修へ参加して、世界に興味を持つようになり、新たな世界に踏み出すとても良い体験ができました。これまで、国際関係の出来事や、海外留学等は英語が出来ない自分には関係ないという考えでいましたが、この研修を機会に外国語を学びたい、理解出来るようになりたいと思うようになりました。とにかく苦手でこれまでずっと避けてきた分野ですが、知識と経験を積みたいと思うようになりました。人々の考えや思いに国籍は関係ないと感じました。互いに認め合うことのできる優しい世界になってほしいです。

1年生

今回チェジュ研修に参加して、はっきり言ってスケジュール的にもハードで、朝から、夜遅くまで拘束されて、体力的にもきつかった。一人ならとても乗り越えられなかったと思う。そんな研修で中間の存在が何より心強く、励みになった。終わってみて、この研修がとても楽しく有意義だったと思えたのも、今回のメンバーとの絆が出来たお陰だと思う。今回の研修で得た平和、仲間との絆を生かし、自分も少しでも平和に貢献できる人間になるためにこれから学んで行こうと思った。

1年生

今回の研修で一番私が得られてよかったと思うのは、視野の広がり、私が考えていたことがとても狭い視野で考えていて、その考えが薄かったということに気づけたということです。

1年生

私が今回の研修で得たことは、韓国人との繋がりです。私は今まで韓国人は気が強い人が多いイメージで最初交流するのが少し怖かったのですが、全くそんなことなくフレンドリーに接してきてくれて本当に嬉しかったです。私はずっと韓国の文化が好きだったので、韓国人の友達ができたということが、私の中でとても大きな体験になりました。セッティングされた交流会だけでなく四日目の夕ご飯のあとにハンラ大学の生徒たちとカフェに行きそこで多くの韓国人の友だちができました。また、交流の場だけではなく、見知らぬ韓国人ともコミュニケーションをとるのも勉強になりました。

以上